

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年3月30日

事業所名 社会福祉法人海風会こどもセンター：こどもひろば風、風キッズ、風キッズココロ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	②	職員の配置数は適切である	5			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5			
業務改善	④	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			ご意見を踏まえ、サービス向上に繋げていきたい。
	⑤	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			
	⑥	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		内部・外部研修に参加している。	

適切な支援の提供	⑦	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		半年に一度アセスメントを行い、計画を作成している。	
	⑧	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	⑨	児童発達支援計画には子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		常にパターン化しないよう心掛けている	
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6			
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		打ち合わせ時に役割分担、プログラム進行について確認している。	
	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		児童降園後、連絡会にて振り返りを行っている。	
	⑮	日々の支援に関して記録をとり、支援の検証・改善につなげている	6			
	⑯	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況の精通した最もふさわしい者が参画している	6		サポート会議、担当者会議に参画している。	
	⑱	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5			
	⑲	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		必要に応じて情報を共有している。	
	⑳	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		特別養護学校とは密に情報共有できているが、一部の支援級とは連携が取れていない。	
	㉑	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		事業所連絡会を通して連携をとっている。	
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5		自立支援協議会に出席している。	
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		面談を行ったり、お電話でのご相談に応じている。	
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		必要に応じて個別にペアレントトレーニングを行っている。	

保護者への説明責任等	②5	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		
	②6	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		個人面談を行い、保護者のご意見を取り入れながら計画を作成し同意を得ている。
	②7	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		
	②8	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		ご相談やご意見には常に迅速に対応している。
	②9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		
	③0	個人情報の取扱いに十分注意している	6		
	③1	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		
	③2	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		チャリティーフェアを開催し、地域の方々や中学校からなど多くの方々に来園していただいている。
非常時等の対応	③3	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		
	③4	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		数回の事業所内訓練と共に町内会と合同の避難訓練を行っている。

非常時等の対応	③⑤	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6			
	③⑥	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			
	③⑦	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			
	③⑧	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		研修に参加した内容をミーティングにおいて職員間で情報を共有し、自らの支援に反映できるよう努めている。	

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。